

篁

会報 2023 No.34

東京府立第二高等女学校同窓会
東京都立竹早高等学校同窓会

特集 「81年卒業生の足跡」 ～高校時代の思い出とその後

第5回 ホームcomingデーのご案内	P2
会長挨拶、竹早高校校長挨拶	P3
令和4年 篁会総会・第4回ホームcomingデー報告	P4
句集「ワカタケル」	P5
篁寿会フィナーレ	P6
特集「81年卒業生の足跡」	P7
特別セミナー・企業訪問	P10
学年幹事交流会・キャリアセンター報告	P11
奨学生認証式・体育祭・竹早祭	P12
東京校歌祭・シニア会・合格状況	P13
令和4年度理事会、決算・予算案	P14
篁会デジタル化さらなる進化	P15
スペシャルオンライン講演会 講師紹介	裏表紙

第5回 竹早高校 ホームカミングデー

つながる絆 深まる絆 広がる絆

開催日時 2023年6月18日(日) 12:00～16:30

リアル開催 (参加費無料・教育基金へのご寄付を！)

受付開始 12:00～

第一部 12:30～ 篁会総会

第二部 13:30～ 各種イベント

*オンラインプログラム

「80年卒生によるスペシャル講演会」会場上映

*“Bamboo Shoots(※たけのこ)” 80年卒による新結成バンド 熱演!

*恒例 謎解きウォーク 校舎内ツアー

*50年分「卒業アルバム」展示

第三部 15:30～ 交流会

*お楽しみ抽選会

*懇談

同期生、先輩後輩 みんな一緒に
是非 お越しください!
お待ちしております!!
早めの昼食を済ませて
お越しください。



☆リアル開催へ参加申込み方法 以下いずれかの方法でご参加下さい

① QRコードの専用サイト (<https://sites.google.com/view/wakatakeru>) からエントリー

② 同封のハガキでお申し込み ①②の締切は6月11日(日)

③ 当日の参加もOK (なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。)

☆コロナ禍の状況により内容変更・中止になる場合があります。

6月12日午前中 篁会HPトップの掲示をご覧ください。



オンラインプログラム (限定公開 YouTube)

6月18日(日) 12:00から公開開始(当日リアル会場でも上映します。)

限定公開 YouTube はワカタケル(ホームカミングデー特設サイト)又は上記の QR コードからいつでも閲覧できます。

◎ 80年卒生による スペシャル講演会

・「アスリートからの贈りもの、『感動と勇気』だけで満足ですか?」 武政 徹氏

〔国立大学法人 筑波大学 体育系(健康体力学分野・運動生理学領域) 教授〕

自分の周りにいる超健康体のアスリート学生のからだの秘密を調べてみたら、高齢者や虚弱体質などの健康弱者を含む一般人にも役立つようなことを発見しました。

・「伊豆×絵本×ひと～Cotori 奮闘記」坪内ゆみ(浅波由美)氏

〔一般社団法人 修善寺 Cotori 代表理事 絵本セラピー・パステルアート・キャリア教育〕

33年務めた教職を早期退職後、修善寺にギャラリーを開設。絵本を通じた小さな文化の交流拠点づくりの活動で感じた「人を育てること」「地域を元気にすること」「セカンドライフの充実」等についてお話しいたします。

・「広がりを見せる建築家のしごと」三浦 健氏

〔建築家 株式会社久米設計 常務取締役 都市計画・海外総括〕

単体の建物設計から社会的仕組みづくりへ広がりを見せている建築家集団のもの見方、考え方を、建築家のシナリオによって身近なまちや地域がどう変貌しようとしているのか、事例を通してお伝えしたいと思います。

主催：篁会 <https://www.takamura-kai.com> 幹事年：80年卒学年幹事会 協力：東京都立竹早高等学校

箠会会長ご挨拶

箠会会長 高倉 孝生

高校23回生・箠71回生の高倉です。日頃より箠会の活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。コロナ禍での暮しかたも3年を超えましたが、2022年度の箠会活動も中止・延期せざるを得ないものも幾つかありました。その中で大きな節目として印象深い「箠寿会」についてご紹介致します。2007年から府立第二高等女学校の卒業生の同窓会を後輩の有志でサポートしてきました。当初出席者数は100名を超え、年齢は80歳を超える方も多く、遠方からの方もいらっしゃいました。ご案内・会場設営・当日の進行の調整などの難題をクリアして2019年まで続けましたが、コロナ禍により2年間開催できず、参加者の年齢を考慮すると今回が最後と事務局も覚悟を決めました。2022年になりコロナ第6波・7波が落ち着いた10月にやっと開催にこぎつけることが出来ました。今回参加された高女の先輩が25名は現役時代を太平洋戦争(1941-45年)の期間前後に過ごされ、その戦争中に修学旅行を朝鮮半島まで泊りがけで汽車と船で往復してきたとうかがい驚愕しました。東京大空襲で多くの人が亡くなった時代ですからいかに勇気ある行動だったか想像できます。竹早高校120年の歴史の重みを感じつつ、大先輩ヘリスpectです。



さて、今後の箠会は卒業生の相互の交流を活発化する企画を積極的に提供し意義のある活動を進めて参ります。経験と知識豊富なシニアとデジタル時代に意欲満々の大学生理事が融合することによって新しい発展が生まれると思います。皆様の多大なるご協力をよろしくお願い致します。

竹早高校校長ご挨拶

竹早高校校長 堀切 哲弥

箠会の皆様には、箠会特別セミナーや箠会教育基金をはじめ様々なご支援をいただき、大変ありがとうございます。

感染症対策で制約が続く中で1年でしたが、体育祭、竹早祭、合唱コンクールもリアルで実施することができました。3年ぶりの実施となったものもあるため、生徒たちにとって初めてのことも多くありましたが、知恵を出し合い協力して成功させました。修学旅行も長崎に2泊3日で実施することができました。



今年度、総合的な探究の時間における新プログラム「Tタイム」をスタートしました。スローガンは、All Different, All Wonderful (みんなちがって、みんないい)です。それぞれの異なる目標に向かって挑戦していくという思いが込められています。東京大学と東京工業大学への研究室訪問や大学院生のTA(ティーチングアシスタント)の活用などの高大連携を一層進めています。

また、竹早高校は三菱みらい財団の2022年度の助成先として採択され、この助成金を活用し、春休みに「Global Studies Program」(海外の留学生とAll Englishで学ぶ3日間)を実施する予定です。

竹早高校に受け継がれてきた伝統や校風を大切にするとともに、変化の激しい社会で活躍できる人材を育成することを目指し、主体的に学ぶ力、多様な人々と協働する力、正解のない課題に挑戦し新しい価値を生み出す力などを伸ばしていきます。今後とも箠会の皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

念願かなって3年ぶりに篁会総会リアル開催

2019年以来3年ぶりにリアル実施。篁会総会は2022年6月19日(日)13:00～14:00竹早高校1階会議室で開催されました。

新体制で生んだ様々な活動報告と承認決議も無事終了

幹事学年である79年卒根岸理事の司会のもと、高倉会長からの挨拶でスタート。吉田副会長から、2021年度事業報告、会計報告、監査報告、2022年度の体制、事業計画、予算案も問題なく了承となりました。昨年度スタートした執行部体制のもと、若手理事とベテラン理事が連携し、デジタルを中心とした様々な活動を生み出しています。実行する理事会だということの理解が得られたと思います。



会場は40名以上参加。熱気が伝わります。

ホームカミングデー 久しぶりのリアル開催に加えオンラインイベントも実施しました。

篁会総会と同じ日にホームカミングデーも開催されました。コロナ禍により開催が危ぶまれたためリアルとオンラインという篁会初の試みで開催しました。

リアルでは、日本初のパズル小説家「廣川州伸」理事による恒例の謎解きウォーク、交流会(懇親会)、卒業アルバム展示、ドローンによる校内映像の紹介を行いました。

オンラインでは「ドローンでホームカミング」「八ッ場ダムそれから」「気軽に楽しく俳句ing」「在校生たちの活動(ダンス部・吹奏楽部・映像研究同好会)」をホームカミングデー(ワカタケル)サイト上で(限定)公開しました。(6月18日まで公開中です。左下のQRコードよりお入りください)

交流会では諸先輩から飲料、抽選会用景品などをご提供いただいたこともあり、短い時間でしたが世代を超えた温かい交流になりました。

圧巻の登場は、濱元校長先生。90歳を超えた年齢を全く感じさせないハーモニカの演奏。高校校歌に高女校歌、アンコールで故郷、マスクで口パクでしたが皆さん楽しそうに歌いました。



あ～面白かったと「謎解きウォーク」参加の皆さん。リピーターも多い恒例イベントです。



待ちに待った抽選会。豪華ではないけど気の利いた景品に世代を超えて大盛況



ホームズ姿でお馴染み廣川理事



<https://sites.google.com...>



オンライントークイベント収録はZOOMによる手作り。お疲れ様でした。



濱先生 マイクを片手にハーモニカ演奏。達人の技に一同ビックリ!!

句集 ワカタケる

「気軽に楽しく俳句ing 二〇二二」
今年度も、ホームカミングデーイベントとして投句
の募集をいたしました。

■ 竹 ■ 早 ■

- 一 茗荷竹母校の香り身にしみる
- 二 竹の子や制服思うなつかしや
- 三 するどさと青きものとと朝太郎の夏
- 四 早すぎた八十四となり若竹も
- 五 若竹の突き刺す雲に夢を追う
- 六 昔日の若竹の伸び今いざこ
- 七 食い道楽茶碗にて知る竹の秋
- 八 歩数計万を超えたり竹の秋
- 九 空を見てまた空を見て入道雲の絵画
- 十 空を飛ぶ情熱の犬気飛行船
- 十一 梅雨晴れの空に新婦の白が映え
- 十二 夏空と芝生と猫とひとやすみ
- 十三 夏至便りスマホに映る君の空
- 十四 夏空に心から叫ぶシーズファイア
- 十五 夏空を衝いて堂々ヒマラヤ杉
- 十六 集いの日ひかりやす空つゆ過ぎる

■ 自由季語 ■

- 十七 天空の紅きピリオド残り柿
- 十八 水玉のブラウス嬉し梅仕事
- 十九 雲映す水面に跳ねたか鯉二度見
- 二十 水鳥(あめんぼ)や雨にも負けず進みおり
- 二一 ハイキング一休みして清水かな
- 二二 万緑の底に水力発電所
- 二三 木村先生あなたを教えた今も尚
- 二四 紫蘇ジューズ命の色を戴けり
- 二五 鰻どんモリ食へる子どもたち
- 二六 碧光るビルの谷間に紫陽花や
- 二七 いと恋しみんなでワイガヤ夏の夜
- 二八 紫陽花を一二三葉と数えたり
- 二九 憧れしジューンブライド夢の国
- 三〇 緑蔭に仔犬待たせて時忘る
- 三一 雨蛙唄えや生命あるかぎり
- 三二 れんげ草道端にピンク映え
- 三三 秋風やざくら拾いし朝かな
- 三四 万緑のこは旧名同心町
- 三五 早いもの全婚式のサクランボ
- 三六 スマホから入学式の孫の声
- 三七 マスク下の歓声響く体育祭
- 三八 初夏の候集へる人たち若かえる
- 三九 赤蜻蛉祭囃子に消えて逝く

七夕竹再会願ふ文字の濃く

淳子

【淳子さんのご紹介】一九七八年卒。
東京女子大学在学中より加藤楸邨に師事
句集「空の色」(角川書店 二〇〇四年)、「新現代俳
句最前線」(北溟社 二〇一四年)に百句所収 俳人
協会会員

たくさん投句、ありがとうございました。
昨年度に続いて78回生の中田淳子さんには丁
寧なご講評をいただきました。感謝申し上げます。

中田さんの講評を含むPDF版は、次のワカタケ
るサイトからご覧いただけます。

<https://sites.google.com/view/wakatakeru>



篁寿会フィナーレ 惜しみ惜しまれ、ひとまずおわりとしました

2007年に始めた篁寿会も16年目を迎え、2020年と2021年はコロナ禍で開催できず、今回は篁会の公式イベントとしての第14回にして最後の会を、10月30日に開きました。会場は第1回からずっと学士会館でした。

高女45回生(篁45回生)から高校4回生(篁52回生)までの26人と、付き添いのご家族、篁会から高倉会長と篠辺前会長などもふくめて総勢37人の会でした。中でも48回生は90歳の方々が10人もご参加、とてもお元気で「次は95歳の時に」と、この回が終わることを惜しんでくださいました。

篁会の公式イベントとしてのフィナーレでしたが、今後も同期会のような形で開催のお手伝いできればと、事務局一同考えております。

高女の先輩方のパワーをたくさんいただきました。たくさんのお話をありがとうございました。すばらしい先輩方を誇りに思います。ありがとうございました。

以下に、篁寿会フィナーレの写真を紹介いたします。スペースに限りがあって全部載せられないのが心残りです。



冒頭ご挨拶は、水原康子さん(高女45回生)ホームページ高女訪問記第一号です。着物の着付けは、お一人でなさったそうです。凄い。



みんな、3年ぶり～(^^♪乾杯～(^^♪待ち遠しかった再会の宴。元気いっぱいのご発声は古川真子さん(47回生)です。



写真左から、松本紀子さん(高女41回生)の元秘書中島さん。綺麗!中村元副会長、高倉会長、篠辺元会長(皆さん71年卒)この宴では若者。



皆さん満面の笑みでお食事歓談です。90代になられても、この宴席では高女の乙女心で、お腹いっぱい。



篁寿会といえば「松本紀子」さん(高女41回生)今回は、映像でのご参加です。いつまでもお元気で。



沢山の方々がスピーチ。全部ご紹介できないのが残念です。写真は藤田淑子さん(高女48回生)スピーチ。



最後は皆さん恒例の全員集合記念写真。今日は、高女時代にもどっての貴重にしてひとまず終わりの篁寿会。旧第一高女の卒業生がとても羨ましがってきた集いでもあります。

「これからも分科会の相談には応じます」事務局からの応答に、皆さん満面の笑みで喜んでいらっしゃいました。

16年間篁寿会を事務局として支えて頂きました古山さん(64年卒)佐藤さん(64年卒)、受付を担当する他様々サポートいただきました岩野さん(68年卒)、松澤さん(70年卒)、薩田さん(72年卒)そして大学生理事、若手社会人理事。他役員の皆様。都立高校唯一無二の大先輩を大切にすの催しは、後進に引き継がれ、伝統としていく所存です。本当に長い間有難うございました。お疲れさまでした。
(会長 高倉孝生)

「81年卒業生の足跡」

～高校時代の思い出とその後～

探してみればチャンスは身近かも

Aルーム 齊藤 嘉仁

高校時代は楽しかったが受験もクラブ活動も物足りなさを感じていた。3年時に体育祭を復活させる話があり暇だったので委員を引き受けた。1～3年縦割連合チーム構成で寸劇の題目では、2年生主役のかぐや姫をパロディー化した劇を作ったが、直前に辞退され自ら人生初の女装を経験した。当時のおとなしいキャラではありえないチャレンジだった。その後、大学でも将来を探するために幾種もの建築事務所でバイトに明け暮れ、翌年開催するつくば科学万博を一手に担うテント会社にたどり着いた。石鹼水の表面張力で形状を決めていく魅力的な『膜構造』に出会った。

入社1年も経たない頃に、急遽、東京ドーム設計担当に抜擢され信じられない展開となり、元請けや先輩たちの数年間のお膳立ての上で最後のバトンを渡された。それから寝袋で泊まり込み、1987年6月28日早朝、東京ドームのインフレート（空気を送り込んで膨らますこと）を迎えた。膨らましている最中は横風で大変形して膜屋根が破損してしまう危険があったが屋根の上で最も局部応力を受ける部分を見守った。2時間半かけて膨らんだドーム内部に移動して屋根を見上げた時、世界一美しいドームだと感じた。元請けや先輩たちと巨人軍に先んじてビールかけをして抱き合って泣いた。それ以降、膜構造が認知され日韓ワールドカップや多くのドームに採用され海外プロジェクトにも参画し、専門的な分野にのめり込んだだけ楽しい仕事を体験し定年を迎えた。残り大阪関西万博まで頑張ってみる。

ドームの頂上にて（この写真の背景に竹早高校も映っているはず!）



竹早祭での「星の王子さま」は楽しかった!その面々は? Bルーム 田中治夫

竹早時代のクラスの思い出といえば、3年生の竹早祭の時、人形スライドショーで「星の王子さま」を行ったことである。クラス一致団結して準備が行われた。とはいえ、個性が強い面々で受験の3年生と一緒に行動するのではなく完全分業制で、多くの人間は筋も知らないまま準備が進んだ。それをうまくまとめたのは榎谷監督のマネージメント能力の高さであろう。この企画は見事、グランプリを獲得した。また、スライドショーを行った教室の飾り付けは、先生方の許容力の高さもあり卒業まで、そのままであった。

そんなわれわれも卒業して40年以上、皆それぞれの分野で、定年間際ではあるが、第一線で活躍している。目立つところでいえば、宇宙ステーション補給機「こうのとり」を成功させた技術センター長や、脳神経外科部長教授、ドラゴンポート日本代表などだ。そんな中、私は土壌学の教育と研究に携わっている。テーマを今風にいえば、サステナブルな土壌管理技術の創生、地球温暖化緩和に向けた土壌炭素隔離技術の開発である。しかし、研究していることといえば、学生の頃から少しも変わらず、肥沃な土壌とは何か、土壌有機物の探求である。しかし土壌研究は地味で、みな大切だと言ってくれるが、多くの方は土を掘ったこともない。どうしたら、興味を持ってもらえるか?まずは子どもに興味を持ってもらうことが大切であろう。ということで、さまざまな場で「光る泥だんごイベント」を行っている。泥だんごをスプーンで磨いてもらうと、数分で光り始めるノウハウを開発した。今後、多くの方々が土壌へ興味をもってくれることを心から願っている。

「星の王子様」のタイトルと、地理学者とのシーン



Keep Climbing- 今後の人生まだまだ楽しめます Cルーム 安藤 久美子

2020年8月、私は34年間勤めた外資系航空会社を早期退職しました。高校時代、英語は苦手の教科のひとつだったので、将来その英語を使う職業に就くなどは夢にも思いませんでした。人生予測不可能です。苦労も多かったけれど、職場には本当に恵まれていました。従業員を大切にしてくれる素晴らしい会社でした。たくさんの素敵な出会いがありました。何より仕事を通して人間的に大きく成長できました。会社には感謝しかありません。

戻れるならいつに戻りたいかと聞かれると、高校生の時と答えてきました。勉強しなかったことを後悔しているからです。ですが高校時代から自分に正直に、楽しいだろうと思ったらとにかく実行に移してきました。大好きな仕事をずっと続けられ、恵まれた人生でした。人生全て繋がっていると感じます。あの時勉強しなかった高校時代があったから今の私があるのかもしれない。

最近、同じく航空会社に入った娘がフライトで家を空ける度に孫を預かり面倒をみています。私も娘が幼い時は両親に預け、仕事を続けることができました。この年で小さな子供の面倒をみるのは正直大変な時もありますが、とにかく現状を楽しみたいと思っています。娘にも私と同じように様々な経験を通して成長し、幸せだったと思えるような人生を送ってほしいです。

竹早高校では、聡明で尊敬できる友人に巡り会えました。いつも本音で話せて適切なアドバイスをくれます。彼女は定めた目標に向かって努力し、ニュースキャスターという夢を実現させました。さすが竹早生です。

今後の人生も予測不可能ですが、これからも自分に正直に、残りの人生を思いきり楽しみたいと思います。

ラストフライトのマニラにて。左から2番目が筆者



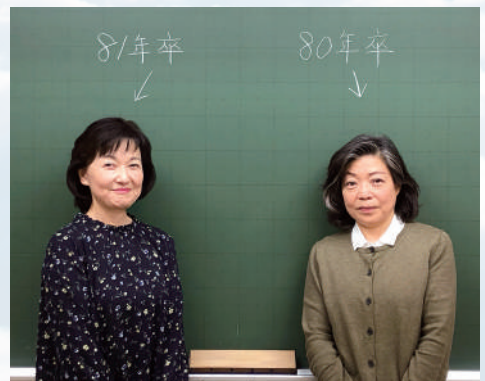
大河ドラマ「いだてん」が取り持つ縁

Dルーム 阿部 桂子

あれは確か2019年のこと、NHKの大河ドラマ「いだてん」に府立第二高女が登場し、母校のかつてのエピソードに興味津々、ドラマを楽しんでいた。私の職場はお茶の水。とある専門学校で外国人に日本語を教えている。ある日、私は職場の講師室で、一人の講師から「阿部先生って、たしかご出身はこの辺でしたよね」と聞かれたので「はい、そうです」と答えると「ひょっとして都立高出身?」「はい、どうして?」「もしかして『いだてん』に出てる?」「はい!そうなんです、でもどうして?」「ははは、それなら鈴木先生もそうですよ」「え?うそ!」…それまで後ろ向きに座っていた鈴木先生がぐるりと振り向いて私を見て言った。「え、竹早だったの?」「ええ」。彼女と私は何年も前から同じ日本語教師として親しくしてきたが、出身高校のことなど話したことはなかった。さて、どちらが年上か、私達の探り合いが始まる。ここは講師室、周りの人たちも驚いたように私達の会話に耳を傾けている。二人だけだったら次の質問はこうだ。「じゃ、何年生まれ?」。しかし状況的にそんな直球の質問は避けたい。すると彼女が言い出した。「じゃ、先生の名前でいこう。」私「音楽の先生の塩…」彼女「あ、私、選択は音楽じゃなかったの。じゃ、化学の…柴崎先生?」。私「うん、覚えてる!」。しばらくして彼女が言い出す。「家庭科の…」すかさず私「ホームプロジェクト!!」口を開けて笑う私達。楽しくなってきたけど、どっちが年上なのか、分からない。結局私の部活(バドミントン部)の話などで彼女が私の一つ先輩だと判明。これで私達は2年間、同じ門をくぐっていたことが分かった。

当時3D担任の佐藤先生は「今、竹早で学んでいる生徒は21世紀に活躍する人達です。」とおっしゃっていた。天国の佐藤先生、私は「活躍する人」かどうかはわかりませんが、暦が還った今も先輩とともに働き続けます。

鈴木泰子さん(80年卒)と勤務校にて



私、こんなことになっております!?

Eルーム 三橋 祐布子(優子)

高校時代を振り返ると、中学時代の優等生でいなくちゃ的プレッシャーから解放され気楽で極めて普通の生活を満喫したこと。その結果成績は低空飛行で、将来自立した職業に就きたいという思いはあれども具体的な進路が決められず、漠たる不安に支配されていたことが思い出されます。

医学部に再入学したのは30歳のときです。異国の地で40歳近いおじさん医学生に遭遇、国立大の入試制度が以前と様変わりしていることを知ったのがきっかけです。卒業するのは本当に大変でしたが、何とかおばさん産婦人科医になることができました。

両親の介護のため現役を離れて早10年、還暦を節目に本年4月に再就職しました。後輩に支えてもらい錆びついた知識をアップデートしながら地方の小さな県立病院に勤務しています。

分娩という人間の人生最初のイベントに立ち会い、最大の苦難を乗り越えた赤ちゃんのパワーを浴び、母児を讃える慶びの輪の中にいると心底光栄に感じます。母の祖母がお産婆さん(今で言う助産師)だったのよ、という言葉が今になってしっくりきます。

この度は寄稿の機会をいただき恐縮です。自分の話をするのは気が進まないのですが、この小文が今悩みの中にいる後輩の方に、既にとんでもない試練を乗り越えて存在している自分の命や、これから予想もつかない展開となるだろう人生へと思いをはせるきっかけとなれば幸いです。



某病院にてスタッフと(2020年1月撮影)

竹早高校の思い出

Fルーム 飯野(池田) 啓子

私は今でも時々、竹早高校で皆さんと一緒に学んだ日々を、煌めきと共に思い出します。そして個性的な先生方! 数学の宮尾幾夫先生;遠くを見つめながら屡々「無限遠点」を熱く語られました。そんな時、私にも Point at infinity が見えるような気がして、いつも胸が躍りました。「ゼロ除算」が出現した時は、「わー大変!」と教壇の上で地団駄を踏んでいらっしゃいました。国語の佐藤浩子先生;国語に留まらず、様々なことを教えていただきました。小論文の添削をさせていただいた時、先生の厳しい指導に、私がぼろっと涙したことがありました。すると先生は、「人間、誰でも苦しいの!苦しくないのは、政治家くらいよ!」とおっしゃり、拍子抜けしたことがありました。家庭科の藤原澄子先生;キュリー夫人の伝記を読むように強く勧められました。当時は読後に「どう生きたらノーベル賞級の研究ができるのか?」としか思わなかった私ですが、「家庭をしっかりと持ちつつ、一流の仕事人を目指せ!」という、先生からのメッセージだったのだ、と今頃わかりました(∠O∠);遅いですね)。そして、竹早入学直後から叩き込まれた自主自律の精神!これは正に私の生きる道標になっています。研究の場面では、自身の出したデータの厳密性に対して、自己を律することが究極まで試されます。そんな時、私の頭の中では「自主自律」の言葉がいつも鳴り響いています。

私は竹早卒業後、自治医科大学に進学しました。東京都山谷診療所等で臨床に携わった後、米国と独国に留学、その後3カ所の医学部で、基礎医学教授として教鞭をとりつつ、生命科学研究に明け暮れました。教え子の医師たちは全国に1600人以上います。現在は再び臨床の第一線に軸足を移し、在宅医療に従事しています。そして日々、日本の高齢者医療について考え、憂い、でも楽しみながら、患者さんたちと交流しています。

週日は在宅医療のクリニックの院長。週末は東工大で実験に明け暮れる研究者



2022 特別セミナー

2022年7月19日(火) 篁会特別セミナーを実施しました。

当セミナーは、1年生の進路選択等の一助となるように学校と連携して、竹早高校卒業生が講師を務め、話をするものです。運営は、学校、父母と教師の会との協力で行われています。

生徒たちは、各自の端末で資料等を見ながら2講座を受講しました。どの講義室も生徒たちの熱いまなざしが印象的でした。本セミナーが、将来を考えるきっかけとなれば嬉しく思います。



講師名	卒業年	講演テーマ
水田 茂夫	'71	海外留学を目指そう
川戸 直美	'74	うちは教育しか残してやれない
吉田 賢治	'75	3つの嬉しさをつくること
田村 浩之	'75	理科系へ進む人へ 社会資本の整備を担う技術とは？
佐々木 章子	'76	調剤薬局での薬剤師の役割 (国家資格をもって働くとは)

講師名	卒業年	講演テーマ
旦 敬介	'78	仕事は人生の本体ではない—自分からなるべく遠いものを探しに行く
西 大介	'78	人生山あり谷あり
井上 あきの	'79	将来を考えるための3つの〇 (マル)
中山 浩典	'79	自分らしく生きるということ～夢を追いかける技術屋の体験～
吉田 信康	'79	自分はどんな人間なのか、文系なのか理系なのか、何をを目指すべきか

3年ぶりの企業訪問見学会実施

2019年夏以来、コロナ禍で実施できなかった企業訪問見学会が3年ぶりに実施されました。この活動は、竹早高校の総合学習科目「人間と社会」(現在は「探求」に改題)の中で求められる体験学習の機会を、同窓会として同科目対象の高校一年生に提供するものです。

今年度は、キリンビール横浜工場・JR東日本大宮総合車両センター・同研究開発センター、ANA Blue Hangarの4施設を訪問しました。高校生たちは視界からはみ出すほど大きな航空機や鉄道車両、工場レーンを目の当たりにして、興奮冷めやらぬ表情を見せていました。

産業界の最前線を見て体験することに加え、なぜ電車のホームドアの上部は斜めになっているのか、なぜ飛行機の尾翼はパーツが分割されているのかという普段見過ごしてしまいがちで大事な意味を訪問先社員の皆さんが問いかけ、教えてくれました。

本活動は訪問先企業で活躍されている同窓生のご厚意と、ご担当者様のご協力によって実現しております。ご協力頂きました3社の皆様、この場をお借りして御礼申し上げます。



2022年度も「学年幹事交流会」を実施しました！！！！

2023年3月18日、竹早高校（社会科室）にて今年度（2022年度）の「学年幹事交流会」を開催しました。今年度の卒業生は竹早75期生、篁123回生となります。

この「学年幹事交流会」は、毎年3月に実施されています。例年その年の卒業生の代表者（学年幹事）、その前年および前々年の学年幹事に出席を依頼し、篁会および学年幹事の役割について理解していただくことが目的です。

当日は高倉会長よりお話をいただいた後、シニア理事も含めて参加者同士で幾つかアクティビティを実施しました。また、篁会という組織や学年幹事・学生理事の役割について理解していただきました。参加者からも「先輩方と楽しく過ごせました」、「篁会の活動内容を知れて良かった」というお声をいただき、有意義な交流会となりました。

今後も、篁会が大学生をはじめとする若手にもっと寄り添えるものとなるよう努めて参ります。



アクティビティをしている様子

若い同窓生を応援する キャリアセンター構想

22年度は、21年度好評だった大学生向けのキャリアセミナーを実施できず、特にリアルで実施してほしいという大学生の皆さんのニーズに応えられませんでした。

一方で、ホームカミングデー幹事年（79年卒）の尽力で二つのオンライン公開講座「ドローンでホームカミング」「八ッ場ダム、それから」が実現しました。これらは大学生や若手社会人に職業の魅力とプロの求道的生き方を伝えるものだったと思います。そして新たに今年3つのオンライン公開講座を実施いたします。今後は従来のイベント形式に加え、若い同窓生の皆さんにとって大きな学びをわかりやすく伝えるWeb動画ライブラリーを実現していきたいと思います。

篁会では、今後若い同窓生のためになる催しを若い理事がどんどん企画して参ります。

都立高校の中で最高の「学びと交流」を実現する同窓会を目指し、若い同窓生にフォーカスしたコンテンツの拡充に努めてまいります。

是非寄付によるご支援を

篁会では前述のような構想を実現するために沢山の企画を考案しています。一方で誠に残念なことに、皆様による会費収入は低減一途の傾向にあります。

積極的な会費によるご支援とともに、若手の成長支援のために、ワンコインで結構です、ご寄付いただけましたら幸いです。

ご入金方法についてはP15をお読みください。

第11回 篁会教育基金・奨学生認証式

2022年7月19日実施

審査で選ばれた3年生6名が「竹早高校から出発する近い未来と夢」を語ってくれました。

岩上 倫也さん◇私は大学で数学や情報の分野について学び、知識を深めたいです。コロナ禍の影響で、大学生生活がどのようになるか予想がつかませんが、竹早高校で学んだことを活かし、充実した学生生活となるよう、勉学などに励んでいきたいと思えます。

坂本 尚宇さん◇私は生来食物アレルギーを持っていてとても不便でした。そんなアレルギーを治したいと思い、医者になることが将来の夢です。目指す目標に気付かせてくれた竹早高校時代の友人に感謝しています。

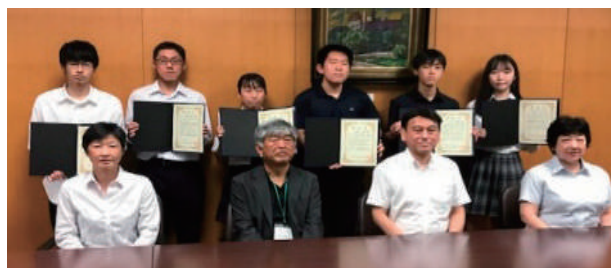
山田ありあさん◇私は広い視野を持ち、多様な文化や考え方を受け止められる人間になることを目指します。卒業後は留学し、できれば複数の国へ渡り、自分にできることを模索したいと思えます。高校での友達との出会いや経験を糧に、多くのことに挑戦していきたいです。

勝山一輝さん◇私にはまだ夢がありませんが、心の中にあるほの温かい希望などがゆっくりと未来へ混合されており、それが凝固するのを期待しています。夢を確信に変える方法はわかりませんが、不要なものは自然にろ過されていくと

信じているので気長に待ちたいです。

徳武篤郎さん◇私達を援助して下さった篁会の皆様に心より感謝を申し上げます。竹早高校から出発する近い未来、私は大学に進学したいと考えております。そして、大学で学んだ知識を活かして社会貢献できるよう、これからも精進していくつもりです。

澁谷 菜由さん◇私は、将来医療系の大学に進学したいと考えています。竹早高校で学んだことやこれから大学で学ぶことを通して、自分に合った職業を見つけていきたいと思えます。また、医療系の職業に就いたら、多くの人の力になれる医療従事者になりたいです。



竹早生の底力で作りあげた、かけがえのない最高の思い出

ついに開催された、二年ぶりの
駒沢競技場での体育祭

今年度は満を持して、例年通り駒沢競技場で開催することが出来ました。執行部や団幹部の方たちを中心に準備が進められ、特に全員で行うダンスパフォーマンスの練習はGWから始まりました。一年生は入学したばかりで戸惑いもある中、先輩方に支えていただき、最終的にどの団も素晴らしいパフォーマンスになりました。この75・76・77期で作上げた最高の体育祭を、さらに良いものにできるよう工夫し、来年以降も引き継いでいきます。



昨年から更にパワーアップした
竹早祭&竹夕祭 見事大成功!

今年度の竹早祭は、一年生は動画制作、二年生はクラス劇、三年生はアリーナ劇という形で行われました。夏休み前から準備を始め、夏休みにも学校に来て撮影や練習を重ね、完成度を高めていきました。クラスが一丸となって取り組んだ日々は、クラスの絆を大きく高めたと思えます。

中でも三年生のアリーナ劇は高校生活の集大成にふさわしく、どれも素晴らしい作品ばかりで、後輩の私たちも胸を打たれました。竹夕祭も、今年度はアリーナで実際に開催することが出来ました。すべての

演目が盛大に盛り上がり、どの生徒にとってもかけがえのない、最高の思い出となりました。

先輩たちの背中から学んだことを、来年以降も竹早の伝統として引き継いでいきます。

(高校一年 得能綾乃)



東京校歌祭に参加しました

2022年11月3日、杉並公会堂で第30回東京校歌祭が開催されました。2021年はコロナ禍で中止、開催が危ぶまれていました。公式開催は見送られましたが、会場も確保してあるので、希望校のみ参加で非公式ながら実施されました。

竹早は東島理事、宮岡理事のとりまとめで、コーラス部OBの若手がたくさん参加して下さって、直前練習のみでしたが、若い歌声を響かせてくれました。

来年はもっとたくさんの方々が参加して下さることを期待しています。参加ご希望の方は篁会まで「校歌祭参加希望」の旨ご連絡ください。

2023年 東京校歌祭 日程：12月3日(日) 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール



2023年シニア会のお知らせ

2022年は直前に中止となり、一部の方に連絡が届かずご迷惑をおかけしました。

2023年は下記の要領で開催を予定しています。

日時： 10月14日(土) 17:00～19:00

場所： スクワール麹町 (四ツ谷駅麹町口を出ると目の前)

会費： 6,500円 (当日受付にて)

申込： 会報同封の「シニア会参加申し込み」はがきか、メールで (takamurasenior@gmail.com)

ゲスト： 篁48回生・藤田淑子さん 高女の卒業生で92歳現役のドクターです。

「90歳過ぎても元気で仕事を続けられる秘訣」をテーマにお話しいただきます。

※お申込みの方には9月末に再確認のご連絡をいたします。メールアドレス、電話番号をお忘れなく。



藤田淑子さんのプロフィール (篁会ホームページ 高女訪問記第3回より)

1948年 東京女子大数学科入学 卒業後、東京大学理学部数学科での専攻を経、東京都立大学理学部で遺伝学を学び東京女子大生物学科に助手として勤務。

1957年 藤田宏氏と結婚 育児の傍ら東京医科歯科大学難治疾患研究所で遺伝学の研究に取り組み医学博士を授与される

1977年より鍼灸医の学校に通い、1980年、50歳で鍼灸医になられ

2000年まで国立国際医療センターの麻酔科ペインクリニックに勤務

ご自宅にて「淑子の鍼灸室」を開業。現在に至る。

2022年度大学合格状況

国公立大学 61名(北海道大1、名古屋大1、東工大3、東北大1、お茶の水大3、東京外語大1、東京学芸大4、千葉大5、埼玉大6、筑波大3、東京芸術大1、東京都立大13)

私立大学 824名(早稲田大37、慶応大7、上智大16、東京理科大38、明治大64、青山学院大18、立教大46、中央大46、法政大69、学習院大16、芝浦工業大25、日本大58、東洋大56)

※詳しくは5月以降、竹早高校のホームページ(www.takehaya-h.metro.tokyo.jp) > 卒業後の進路 > 進路データ > 大学合格状況) でご覧ください

令和4年度理事会報告

●第一回 2022年6月19日開催 総会

1) 承認

- ・新副会長推薦の件 1978年卒 杉淵明子氏
- ・新理事選任の件 1979年卒 根岸潤一郎氏、神門正雄氏
2021年卒 緑川泰生氏
- ・理事任期延長の件 1974年卒 川戸直美氏
1983年卒 戸次聡史氏
- ・監事任期延長報告 1964年卒 佐藤美紗子氏
1976年卒 岩井良輔氏
- ・理事退任(報告) 1975年卒 松永茂樹氏
1974年卒 山田祥子氏

2) 事業計画

- i 特別セミナー、奨学生認証式7月実施の件、企業訪問実施、会報誌編集他広報委員会活動の件、活性化プロジェクトの件、篁寿会実施の件

●第二回 9月3日 出席16名 委任状9名

1) 承認

- ・1975年卒西村慶介氏 顧問就任の件
- ・会員管理(会報発送)システム移行方針 ・22年度会報誌より、計報欄を無くす件
- ・会報誌編集長(80年卒松浪賀津子氏) ホームカミングデーリーダー(80年卒本村美奈子氏) 報告

●第三回 11月20日出席14名 委任状11名

1) 承認

- ・ホームカミングデーにつき、開催日を23年6月18日(日)とすること。
- ・オンライン企画継続 リアル併用実施の件 謎解きウォーク継続の件
- ・キャリアセンター 就活セミナー中止の件
- ・会員管理(会報発送)システム移行検証経過報告

●第四回 2023年1月21日 出席13名 委任状9名

1) 承認

- ・ホームカミングデー開催日程(6月18日(日))・学年幹事交流会開催日程(3月18日(土))
- ・23年度企業訪問実施継続・

2) 報告

- ・会報誌デザインと編集進捗状況 ・ホームカミングデー・オンライン開催準備状況
- ・システムプロジェクト進捗状況及び同窓会システム継続に関する執行部方針

●第五回 2023年3月18日 出席11名 委任状13名

1) 承認

- ・執行部体制強化 委員会縦割り体制の23年度プロジェクト型横連携体制への完全移行
- ・若篁会構想 ・人事:佐藤監事岩井監事退任と高橋監事新任 新任理事:22年卒松田氏 退任:田村理事
- ・同窓会システムによる名簿公開23年度内中止とその準備(正確な計画化と引継ぎや問い合わせ体制)

2) 報告

- ・学年幹事交流会実施結果 ・会報誌進捗状況 ・ホームカミングデー準備状況

篁会 2022・R4年度収支決算(案)

2022年4月1日より2023年3月31日まで (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金 (特別会計を含む)	16,805,842	教育支援事業	奨学金 300,000
入会金(新入会員)	1,840,000		教育援助金 0
年会費	1,753,579		贈呈記念品費(1年・3年) 281,605
年会費(クレジット)216900			篁会特別セミナー(1年) 76,519
受取利息	17	活動推進事業	会報発行費 2,407,223
雑収入	5,000		竹早祭出店 0
教育援助金戻し金	107,105		篁寿会 0
			校歌祭 0
			新卒学年幹事交流会前年 53,730
			新卒学年幹事交流会 60,000
			ホームカミングデー(含總會) 170,117
			総務費 174,209
			Webサイト運営保守 664,400
			Web・HP管理費 17,215
			DX推進費(新規) 53,060
			名簿管理費用 523,958
			ホームカミングデー(前渡金) 200,000
小計	3,705,701	小計	4,982,036
			次年度繰越金 15,529,507
合計	20,511,543	合計	20,511,543

特別会計			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
定期預金	12,000,000	活性化プロジェクト補助金	0
周年事業基金	468,486	奨学金(3年)	0
高女記念碑基金	243,600	教育援助金(全学年)	0
教育基金	126,784	小計	0
教育基金繰入金(雑収入)	5,017		
基金合計	12,843,887	基金合計	12,843,887

※湘南篁会解散による寄付金は年会費に戻入(45,169円)

篁会 2023・R5年度収支予算(案)

2023年4月1日より2024年3月31日まで (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金 (特別会計を含む)	15,529,507	教育支援事業	奨学金 300,000
入会金(新入会員)	1,850,000		教育援助金 100,000
年会費	1,800,000		贈呈記念品費(1年・3年) 280,000
受取利息	20		篁会特別セミナー(1年) 100,000
雑収入	100,000	活動推進事業	会報発行費 2,300,000
			竹早祭出店 50,000
			篁寿会精算金 159,456
			校歌祭 50,000
			新卒学年幹事交流会前年 0
			新卒学年幹事交流会 60,000
			ホームカミングデー(含總會) 300,000
小計	3,750,020		総務費 80,000
			Webサイト運営保守 664,400
			Web・HP管理費 15,000
			DX推進費(新規) 150,000
			小計(除:特別会計分) 4,608,856
			繰越金 1,826,784
			前年度特別会計繰越金 12,843,887
合計	19,279,527	合計	19,279,527

特別会計			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
定期預金	12,000,000	活性化プロジェクト補助金	50,000
周年事業基金	468,486	小計	50,000
高女記念碑基金	243,600		
教育基金	131,801		
基金合計	12,843,887	基金合計	12,843,887

引き続き

デジタル化推進中

★LINE公式アカウント 友だち募集中!

イベント開催情報や募金のご案内などを配信しております!
また、下記で紹介するサービスは全てLINE公式アカウントのトーク画面から簡単に移行可能です。ぜひ友だち追加、お願い致します!



▼アカウント名
【箕会】都立竹早高校同窓会
▼ID
@495zfian

☞スマートフォンでQRコードを読み込んで簡単に友だち登録!

▼他サービスへの移行方法

- ①トーク画面を開く
- ②下の「メニューを表示」をタップ
- ③希望のサービスをタップする



★会報誌いつでもどこでも

本会報誌のデジタル版が配信されていること、ご存知でしたか?
デジタル版なら、お手持ちのスマートフォンやパソコンで、いつでもどこでも閲覧可能です。ぜひご覧下さい!!



■閲覧方法

- その1 箕会ホームページから
- その2 LINE公式アカウントのトーク画面から

大学生から高校生へ

2022年高校体育祭の練習期間、大学生に対して、生徒へ向けて飲料代の寄付をLINEのコネクションを活用して募ったところ、3日で3万円の入金がありました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。今後は、LINE公式アカウントを通して、この活動を続けてまいります!



★デジタルde年会費納入 ついに電子決済も可能に!

2023年夏頃より、電子決済(PayPay・楽天ペイ)での年会費納入も可能になります! もちろん既存の納入方法も継続してご利用いただけますので、使いやすい納入方法をご自由にお選びください。

引き続きご協力の程、何卒よろしくお願いたします!

※年会費は2口(2000円)以上となります。2口以上の口数をご入力ください。

※クレジットカード決済、および電子決済の納入方法は、箕会ホームページ又はLINE公式アカウントのトーク画面よりご確認いただけます。

■納入方法

- ① 本書同封の振込用紙
- ② クレジットカード決済
- ③ 電子決済 Coming Soon!

★Web同窓会システム

■使い方

「Web同窓会システム」では、ご自身の会員情報や、同級生、先輩後輩の検索、会費のお支払い履歴の確認等が出来ます。ユーザーIDとパスワードについて、下記をご一読の上、ぜひ一度ログインしてみてください。

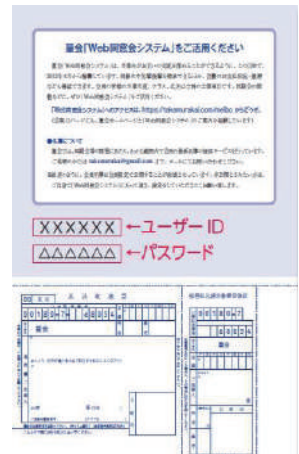
■ログインIDとパスワード記載箇所

ログインに必要なユーザーIDとパスワードは、同封の振込用紙の上段、図の位置に記載されています。

113年の歴史を誇る
自主自律の精神を重んずる伝統



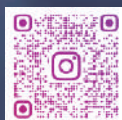
URL : <https://takamurakai.com/meibo/>
上記のQRコードからページが開けます。



箕会



■箕会ホームページ
<https://www.takamura-kai.com/>



■Instagram
@takamurakai



■Twitter
@takaGrakai

スペシャルオンライン講演会 講師紹介

「アスリートからの贈りもの、『感動と勇気』だけで満足ですか？」 武政 徹氏

筑波大学体育系（健康体力学分野・運動生理学領域）教授

筑波大学の体育の教員として20年以上勤務しています。専門は「分子運動生理学」で、運動による筋肉の適応現象（筋トレによる筋肥大や持久性運動による有酸素代謝向上）の分子メカニズムを研究しています。筑波大学体育専門学群は伝統ある体育学部であり、日本代表選手を含む多くの国内トップレベルの学生を擁しています。

エリートアスリート学生のかからだの秘密を調べていくうちに、高齢者や虚弱体質などの健康弱者にも役立つような知見が得られましたので、紹介します。



「伊豆×絵本×ひと～Cotori 奮闘記」 坪内 ゆみ（浅波 由美）氏

一般社団法人 修善寺 Cotori 代表理事 絵本セラピー・パステルアート・キャリア教育

文教大学教育学部中等国語専攻卒業後、東京都御蔵島村、静岡県伊豆地域での33年間の教職生活を経て、55才で早期退職。個人事業主として活動中に伊豆市未来塾受講がきっかけとなり、令和元年6月ギャラリースペース Cotori を開設、翌年2月一般社団法人を立ち上げる。大人のための絵本時間やパステルアート、キャリア教育を核として活動を展開。全国の絵本関係者との親交を深めつつ、まちの小さな文化の交流拠点をめざして日々奮闘中。



「広がりを見せる建築家のしごと」 三浦 健氏

建築家 (株)久米設計 常務取締役 都市計画・海外総括

竹早高校在学中は野球部とフォークロック研究会(?)に在籍していました。

父と兄が売れない画家をやっていたことが影響したのか、「建築」という言葉に不思議な魅力を感じ、知識もないままに大学は建築学科に進学しました。

建築意匠を専攻し設計事務所に就職、現在に至ります。建築設計、都市計画というひとつの仕事で36年間続けられているのは自分でも驚きです。それだけ何かを構想し実現への道筋をつけることに、常習性があったのかもしれませんが。そんな魅力が伝われば幸いです。



篁会役員

〈2023年3月現在〉

会長	高倉 孝生	1971年卒	理事	田村 浩之	1975年卒	理事	堤谷 美柚	2018年卒
名誉会長	堀切 哲也	竹早高校校長	理事	佐々木 章子	1976年卒	理事	藤原 叶	2018年卒
顧問	松本 紀子	1941年卒	理事	杉渕 明子	1978年卒	理事	草野 竜哉	2019年卒
顧問	磯貝 恵三	1955年卒	理事	神門 正雄	1979年卒	理事	小林 雅人	2019年卒
顧問	篠辺 修	1971年卒	理事	鳴沢 清隆	1979年卒	理事	白井 颯	2019年卒
顧問	西村 慶介	1975年卒	理事	根岸 潤一郎	1979年卒	理事	松岡 舞	2019年卒
顧問	古関 恵一	1977年卒	理事	本庄 忍	1979年卒	理事	宮岡あや野	2019年卒
副会長	高橋 政行	1973年卒	理事	池ヶ谷 美恵子	1979年卒	理事	源 美恵子	2020年卒
副会長	三野 直子	1974年卒	理事	戸次 聡史	1982年卒	理事	鈴木 彰太	2020年卒
副会長	宮沢 和正	1974年卒	理事	柳屋 克子	1983年卒	理事	緑川 泰生	2021年卒
副会長	吉田 賢治	1975年卒	理事	大森 美樹	2016年卒	監事	佐藤美紗子	1964年卒
理事	松丸 直樹	1969年卒	理事	向田 慶介	2016年卒	監事	岩井 良輔	1976年卒
理事	川戸 直美	1974年卒	理事	東島 粹生	2017年卒			
理事	廣川 州伸	1974年卒	理事	仁科 広貴	2017年卒			

アドバイザー

岩野 英子	1968年卒
吉岡 新	1969年卒
松澤由利子	1970年卒
中村 光宏	1971年卒
水田 茂夫	1971年卒
薩田須美子	1972年卒
山田 祥子	1974年卒
山口 順子	1976年卒

広報委員会 〈2023年3月現在〉*編集長

吉岡 新	1969年卒	*松浪賀津子	1980年卒
松澤由利子	1970年卒	本村美奈子	1980年卒
薩田須美子	1972年卒	大森 美樹	2016年卒
宮沢 和正	1974年卒	向田 慶介	2016年卒
三野 直子	1974年卒	東島 粹生	2017年卒
廣川 州伸	1974年卒	仁科 広貴	2017年卒
吉田 賢治	1975年卒	堤谷 美柚	2018年卒
田村 浩之	1975年卒	藤原 叶	2018年卒
山口 順子	1976年卒	松岡 舞	2019年卒
杉渕 明子	1978年卒	宮岡あや野	2019年卒
源 美恵子	1979年卒	池ヶ谷 駿介	2020年卒
本庄 忍	1979年卒	鈴木 彰太	2020年卒
鳴沢 清隆	1979年卒		

篁会報



発行日
発行

2023年4月30日
篁会
〒112-0002
東京都文京区小石川4-2-1
東京都立竹早高等学校内
Eメール takamurakai@gmail.com
https://www.takamura-kai.com
篁会 広報委員会
共立速記印刷株式会社
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋3-11-24
北澤（榎本）みさ子（1980年卒）

編集
印刷

表紙

